

1. 保健活動・疾病予防の推進

基本方針

高齢化社会の進行に伴い、壮年期死亡を減少させるとともに健康寿命を延伸することで、QOL(生活の質)の向上を目指し、単に疾病を早期発見するだけでなく、一次予防に重点を置いた取組が重要となっています。

市民が自覚を持って生活習慣を見直し、生活習慣病予防等に主体的に取り組むことを支援するため、「健康かしはら21計画」を策定し、これに基づき、今後も各種健康診査や健康教育等を実施していきます。また、核家族化・少子化等による育児不安の解消等の支援を強化していきます。さらに、市民の予防接種率の向上により免疫レベルを一定以上に保ち、感染のおそれのある疾病の発生を予防することを目的に予防接種事業を実施していきます。



現状と課題

「健康かしはら21計画」に基づき、医師会・歯科医師会・自治会・ヘルスリーダー等の団体による講演会・健康相談・調理実習等の食生活改善活動やウォーキングマップ作成等市民の健康づくりを支援する様々な取組を推進してきました。これにより、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念の普及や禁煙活動の取組も進みました。さらに、健康増進法や食育基本法に基づき、市民全体の健康意識を高め、地域と協力した健康づくりのための支援が必要となっています。

育児不安を軽減するために、父親の積極的な育児参加を促す取組として両親学級等を実施していますが、今後更に育児に関する情報提供や広報活動を実施していく必要があります。

予防接種については、かかりつけ医で安心して個人で受けることができる体制を推進しています。

施策指標

指標名	実績値			目標値	
	H16	H17	H18	H24	
3か月児健康診査の受診率	90.5%	90.2%	88.0%	94.0%	
1歳6か月児健康診査の受診率	(集団)	93.0%	93.4%	92.7%	95.0%
	(個別)	90.3%	94.2%	93.1%	95.0%
2歳になった時に、麻しん・風しん予防接種を終了している者の割合	-	-	-	95.0%	
成人の肥満者の割合	23.1%	23.6%	24.1%	20.0%	
健康教育受講者数	2,732人	2,307人	3,354人	3,500人	

今後の取組

① 健康づくりの推進

市民が主体的に健康づくりに取り組むことを支援するため、「健康かしはら21計画」を基に食生活・運動・歯の健康・たばこ・健康チェック・こころの健康・健康のための環境づくりの各項目において目標を設定し、ボランティアや各種団体とともに事業を推進します。また、生活習慣改善が必要な方への個別指導を実施するとともに、運動や栄養の健康教育事業等による市民全体の健康レベルの向上を図ります。

- 健康かしはら21計画の推進
- 保健予防活動の推進
- 健康ボランティアの養成・支援

② 食育の推進

子どもから高齢者までの心身の健康づくりにおいて重要となる健全な食生活を推進するため、食育推進計画を作成し、これを周知して食育推進の活動を行っていきます。

- 食育推進計画の策定
- 食に関する知識の普及

③ 疾病予防の推進

麻しん予防のため、乳幼児を対象とする教室・健診等で麻しん・風しん混合1期・2期の接種のPRに努めます。また、接種を勧める電話を通じて健診の未受診者の受診奨励にも努めます。さらに、がんや生活習慣病を健康診査で早期に発見するとともに、生活習慣病予防に関する知識を普及するなど、疾病予防に取り組めます。

- 個別接種の推進
- 麻しん・風しん混合1期・2期の接種勧奨の強化

④ 子どもが健やかに育つための環境づくり

妊娠・出産から就学前までの一貫した母子保健サービスを推進します。

健康診査・健康教育・健康相談等により、母子の健全な発育を図るとともに、育児不安の解消、父親の育児参加の推進、思春期教室等の実施、地域における育児サークルとの交流を深めること等により、子育て支援を進めます。

- 健康診査の実施
- 健康教室の実施
- 訪問指導の実施

市民等との役割分担

家庭・地域・職場等において健康づくりについての取組を行うことにより、自分と家族の健康を管理することが期待されます。また、地域における子育て支援に参加することが期待されます。さらに、高齢者は自身の意思により予防接種を受け、保護者は子どもの予防接種を理解し、速やかに接種できるよう計画を立てる等、個々が疾病予防に努めることが期待されます。